

台北医学大学短期留学プログラムの 報告会が行われました

本学と台湾・台北医学大学との協定に基づく「短期留学プログラム」が8月4日(月)から8月29日(金)までの4週間にわたり実施され、台北医学大学薬学部から、2年生の陳 章綾さん、陳 映羽さんの2名、同大学歯学部から4年生の田 俊文君、阮 珮珍さん、朱 婉怡さんの3名が来学しました。

本プログラムでは、本学での授業をはじめ、薬学部では学外の調剤薬局見学実習、歯学部で



は本学大学病院の見学等、それぞれ学部の特徴を活かした研修を行い、日本と台湾の薬学、歯学教育の違いを学びました。

8月28日(木)には報告会が開催され、4週間の授業や実習など短期留学の成果について、各学部ごとに発表しました。最後に新川学長から本プログラムの修了証明書がそれぞれに手渡されました。

報告会終了後には懇親会が行われ教員の他、交流のあった学生たちと共に留学中の思い出話を花を咲かせ、本プログラムの終わりを迎えました。

台北医学大学との連携は年々強化されており、来年度には看護福祉学部でも受入を予定しています。また、来春には本学薬学部、歯学部、看護福祉学部から学生を台北へ派遣する予定です。

本交流事業の充実が国際的な医療人の育成に資することを期待します。



発表会の様子(歯学部)。



懇親会ではこの1か月の思い出を大いに語ってもらいました。

サハリン州副首相・保健省大臣が来学しました

8月27日(水)に、サハリン州のトルネフ副首相、ズブコフ保健省大臣、クヴォイ在札幌サハリン州代表ほか補佐官2名が本学を訪れました。本学は昨年12月に国際交流推進室を開設し、サハリン州との交流を目指す状況の中で、今回の訪問は北海道経済部



左からクヴォイ在札幌代表、トルネフ副首相、ズブコフ保健省大臣。

国際経済室のコーディネートによって実現しました。本学は黒澤副学長、半田国際交流推進室長および鈴木事務局長ほか、教職員総勢8名で迎えました。

交流に向けた協議では、双方それぞれが現時点での提案を行うとともに、今後期待する内容について意見交換を行いました。

今回の意見交換は、今後、本学がサハリン州と交流を進めるにあたり重要なものであり、双方の提案内容と今後の期待する内容を議事録として調印し、「実質的で具体的な交流」の早期実現を目指す課題として共有する運びとなりました。

内容の濃い意見と提案の交換の後には、歯学部の

実習室を見学し歯科医師養成の設備やリハビリテーション科学部が持つ最新の实習室であるバリアフリーラボを見学して本学訪問のスケジュールを終了しました。



歯学部の実習室を半田室長が説明している。

アルバータ大学から薬学部長が来学しました

カナダ・アルバータ大学は1993年に本学が初めて交流提携を締結した海外の大学で、研究交流や学生交流をはじめ毎年夏季休業中には語学研修を実施しています。

4月22日(火)にアルバータ大学からKehrer薬学部長とCox生涯教育担当が本学を訪れました。ランチミーティングでは、共同研究や若手研究者の派遣、学生交流について話が持たれました。

ランチミーティングの後には、新川学長、黒澤副学長を表敬訪問し、今回の来学についての報告や本学の印象などについて歓談し、最後に新川学長から訪問のお礼に対するプレゼントが手渡されました。

その後、図書館大会議室を会場として、Kehrer薬学部長によりアルバータ大学薬学部の教育の内容や方針、研究者について、またCox先生からはカナダの医療制度と薬学教育を通じたアルバータ州における人材育成の方向性についてプレゼンテーションがあり、参加した本学の教員や学生からは、留学や教育内容について積極的に質問がされ関心の高さを伺い知ることができました。

訪問スケジュールの最後に臨床薬学実習室や中央講義棟を見学し、今回のスケジュールを無事に終えることができました。

今回の訪問をきっかけに、これまで続いている

語学研修はもとより、留学や研究交流がより一層前進することをお互いに確認する良い機会となりました。

